

奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまちの情報誌

広
報

おいらせ 3

Public
Relations
March
2014
No.109

【表紙】
百石えんぶり
～松の舞～





春を呼ぶ 百石えんぶり

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌
広報 おいらせ
 Public Relations OIRASE No.109

2014

3

目次

02	百石えんぶり
04	おいらくんの 自治基本条例メモ 「まちづくりフォーラム」 「里山づくりフォーラム」 「教育懇談会」
14	イベントのおしらせ
18	ごみカレンダー
26	くらしの情報 <input type="checkbox"/> 各種相談窓口を開設 <input type="checkbox"/> 統計調査員募集 <input type="checkbox"/> 奥入瀬川清流指導隊員募集 ほか
32	まちのわだい <input type="checkbox"/> ほら吹き大会 <input type="checkbox"/> 文化財防火デー <input type="checkbox"/> 長寿祝金伝達 ほか
35	戸籍の窓
36	Zoom Up 小國未詩さん

★
★
★
★

おいらせ町情報発信
FM ラジオ番組放送中!!

★ **OH! いらっせ★**
～ぐるっとイとこラジオ～

毎週水曜 昼 12時から 12時半
八戸78.4MHz

リクエスト・お問い合わせ
 ☎ 080-2818-1156
 Eメール oirase@afb.co.jp

※町の委託事業です

まちの人口

平成 26 年
2月1日現在

男性	12,178 人	(32)
女性	13,021 人	(73)
合計	25,199 人	(105)
世帯	9,724 世帯	(26)

※外国人を含めた数値です。
 ()内は外国人口と外国人世帯数

郷土に伝わる伝統芸能
氷点下で演舞を披露

百石えんぶり（百石郷土芸能保存会・小向政治会長）は2月15日に始まりました。15日から3日間、えんぶり組が本町地区を中心に町内を門付けして回り、今年の豊作を祈願しました。最終日の17日は八戸えんぶり一斉揃りにも参加。多くの観客がえんぶり舞に声援を送りました。

180年以上もの歴史を持つと伝えられている百石えんぶり。舞を舞うことを「摺る」と言いますが、百石えんぶりは近隣と比較しても特に摺りのテンポが早いことで知られています。また、前髪のついた烏帽子を手で押さえることなく、首だけで支え激しく振る所作が特徴で、五戸町切谷内の流れを組むドウサイえんぶりと言われています。



▲吹雪の中、法運寺隣の若宮八幡宮でえんぶりを摺る太夫。期間中は東北各地で記録的な大雪となった。



▲八戸えんぶり一斉摺り見学バスツアーに23人が参加。大雪の中応援にかけつけ、子どもたちの舞に拍手を送りました。



▲大久保巳良さん(本村)から、百石えんぶり組へ、今年もツマゴ30足、ハバキ7足を寄贈いただきました。ありがとうございました。



▲子どもえんぶり教室は1月24日夜から開催されました。教室には小中学生17人が参加、熱心に舞の稽古を重ねました。

郷土芸能連絡協議会の小笠原正明会長は「何十年ぶりのかの大雪だったので皆大変だっただろう。百石えんぶりは(上北郡内では)唯一残っているものとして受け継いできた。これからも絶やしてはならない」と話していました。

おいらくんの

まるわかり
自治基本条例メモ
おいらせ町

その5 最終回

みな 皆が集い、 語り合うまち

まちの憲法ともいえる「自治基本条例」は、今年度で制定5周年。より良いまちづくりのため、条例の見直し時期を迎えています。この特集では、条例の目的を振り返りつつ、条例が示す「おいらせ町の自治」の実現に必要な、「様々な人が集まり、まちづくりを語り合う取り組み」を紹介します。

条例の目的

『町民が幸せに暮らす町』の実現

まちづくりの基本原則

情報共有

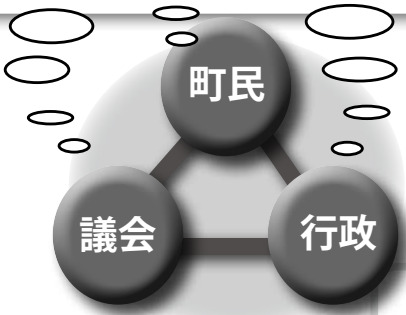
町民、議会、行政は対等の立場で、お互いの情報を共有してまちづくりを進めます。

参加と協働

町民はまちづくりに主体的に参加する権利を持ち、議会や行政と協力してまちづくりを進めます。

地域経営

地域資源を活用し、最少の経費で最大の効果をあげる「成果」重視の政策の実施に努めます。



自治基本条例の あらまし 編

これまで4回に渡り「おいらくんの自治基本条例メモ」コーナーで取り上げてきた「自治基本条例」のねらいと仕組みについてまとめてみました。

自治基本条例とは何なのか、全体をもう一度ふり返ってみましょう。



まちづくりのしくみ

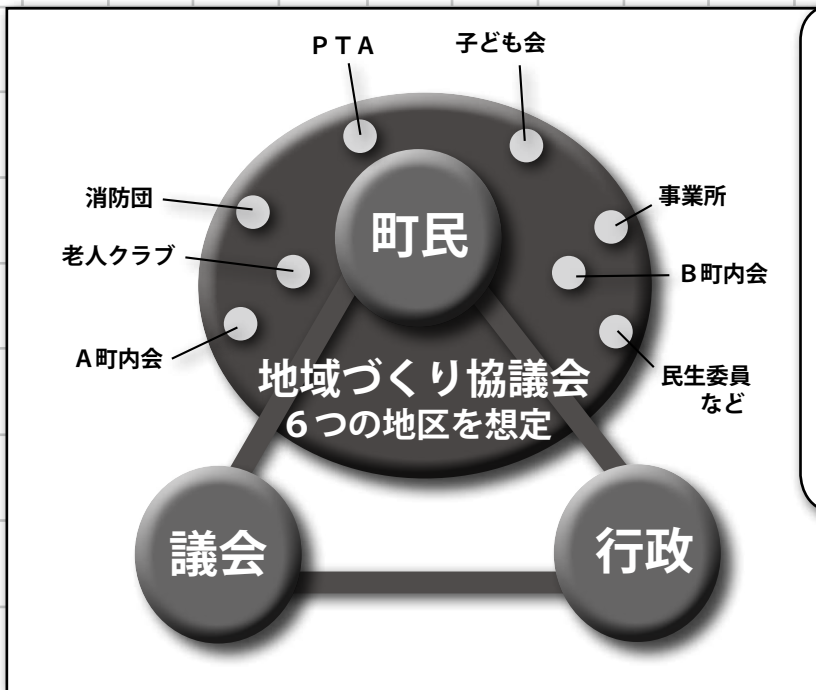
まちづくりの基本原則を実現する具体的なしくみ

- 総合計画
- 情報公開・情報共有
- 行政監視
- 財政運営
- 委員の公募
- 開かれた議会
- 行政評価
- 参加の保障
- 選挙における情報共有

「町民が幸せに暮らすまち」を目指して

自治基本条例には、「町民の幸せ」のためにはどんな考え方、仕組みや制度が必要なのかをまとめた「まちづくりの基本原則」が盛り込まれています。(11月号参照)

自治の これから



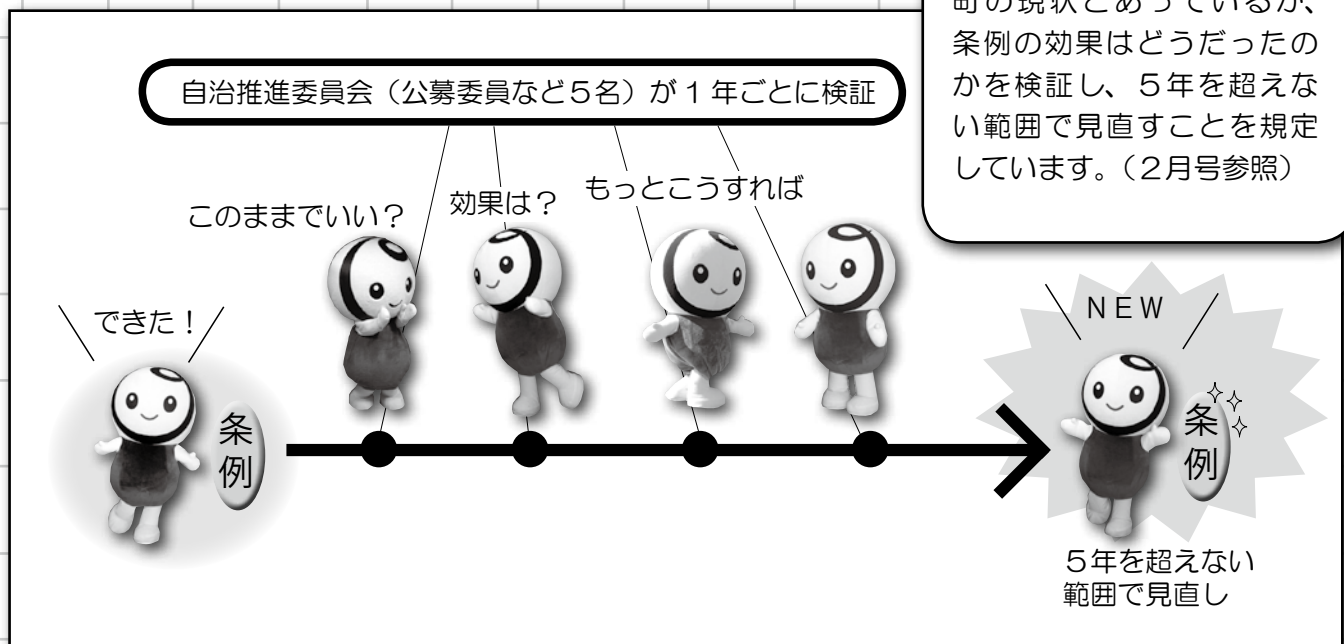
自治の基本となる 「地域づくり協議会」

まちづくりの基本原則に書かれたことを実現するために「地域づくり協議会」が設立されました。

「地域づくり協議会」は、町内会で対応できない課題の解決や、町内会と町内会の連携が必要な事業など、広い範囲をカバーし、地域自治の主体となります。(1月号参照)

自治基本条例の見直しを検討しています

自治基本条例は1年毎に、町の現状とあっているか、条例の効果はどうだったのかを検証し、5年を超えない範囲で見直すことを規定しています。(2月号参照)



「自治」を進めるために、何をすればいいの?

今年度は町の自治基本条例にとって節目の年です。
まちの憲法「自治基本条例」、そして「自治」を進めるために大切なことは何でしょうか。
次のページから おいらくんと一緒に、実際の取り組みを見てみましょう。





町民・議会・行政が手を取り合って、まちづくりを進めるには？



▲様々なまちづくりの課題を話し合うフォーラム参加者

まちづくりフォーラム 編

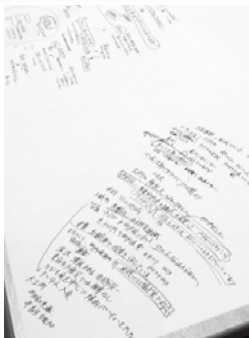


自治基本条例の見直しの検討を進める中で、様々な立場の町民が集い、条例の内容を再確認し認識を共有した上で、まちづくりについて互いに語り合いました。

自治の
これから



▲ワールドカフェの様子。テーマを決めて班別に語り、自由に他の班に移動して理解を深めます



▲テーブルへ自由にメモ

『ワールドカフェ』で 情報共有

フォーラムでは、「100人ワールドカフェ」と題し、グループ別の対話が行なわれました。『ワールドカフェ』とは、気づきを得る、情報収集する、相互理解を深めることを目的とした対話の手法です。

参加した村田愛実なつみさんは、「とても新鮮でした。各町内会のリアルな状況が参考になりましたし、現状にとらわれない大胆な発想が出ていました。後は現実とのギャップをどう埋めるかが重要だと思います。ただ、若者の参加率の低さが残念でした。堅苦しい・真面目すぎるといった先入観もあると思います。若者の参加率を上げることが課題だと思いました。」と感想を話していました。



▲「点から線、線から面に」地域づくり協議会の必要性を語る馬場事務局長



▲オープニングで寸劇を披露した劇団笑劇（村田昭子団長）。「条例を勉強しよう」と観客に訴えた。劇団笑劇は、社会問題などを時代劇風にとりあげることが特徴。今年で10周年を迎え、おいらせ一番星に認定された。



▲「自分たちがやれることは、自分たちの手で」と語る二木会の福原代表

町主催、二木会にぎわかい（自治基本条例策定メンバーOB会）共催の「みんなで語り合うまちづくりフォーラム」皆さん、忘れていませんか？ わがまちの憲法！」が2月9日、みなくる館で開催されました。

町民や条例策定の関係者が、自治基本条例のこれからについて話し合いました。

二木会の福原仁一代表は「自助、共助、公助の精神で、自分たちがやれることはやろうとしてきた。また、人と人が知り合う時は住所などの基礎情報が必要だと思っている」とまちづくりへの協力を呼びかけました。

その後、自治基本条例による住民参加の取り組みとして、木内々小学校区地域づくり協議会の馬場正治事務局長が、町で初めての住民自治組織によるまちづくり事例を紹介しました。

馬場事務局長は、「はじめは新しい組織に否定的だったが、数年にわたる取り組みで意識が変わりました。無理のない取り組みが大事です」と地域づくり協議会の活動に意欲的でした。



▲「コミュニティの中心として、自然環境は大きな役割を果たす。住民協働は、課題の解決よりもみんなで話し合うという過程が大切。地域の自然を知ることによって住民の誇りも醸成されるのでは」と提言する山本准教授。



▲大杉教授は「里山の保護活動やイベント事業を行う際には、人手や資金の確保など多くの課題がある。おいらせ町の素晴らしい自然の多様さや豊かさを語り合うことは、住民協働にとって貴重なテーマであり、今後も議論の場を作っていただきたい」と述べ、まちづくりに強い期待を寄せた。

おいらせ町の美しい自然・景観をどう活かしていくの？



・ 基調講演後の事例発表で、『学生から見たおいらせ町の強みと弱み』を発表した首都大学大杉ゼミの学生。おいらせ町役場は今年度、「域学連携事業」で、大学教員や学生と共に、地域づくりについて、フィールドワークを含めた実践的な研究活動を重ねてきた。

里山づくりフォーラム 編

町が推進する「美しい里山づくり」について、住民主体の先進事例発表やパネルディスカッションなどが行われました。参加者は町の自然を守り、美しい景観をつくるための方法論などに理解を深めました。



自治の
これから

皆が集い、語り合うまち



▲パネルディスカッションでは、首都大学東京の大杉覚教授がコーディネーターを務め、パネリストがそれぞれの立場から意見を述べた。左から大杉教授、岩手大学農学部の山本清龍准教授、おいらせ町観光協会の馬場正治会長、がんじゃ里山の会の関下斉事務局長、おいらせ町役場庁内塾「域学連携塾」三村俊介代表。

◀「環境教育は豊かな心を育む。泥の中に入り、虫を捕まえる体験は子どもにインパクトを与える。自然のあるべき姿を守ることが生物多様性につながる。地域の特性に応じた保全活動が大切」と提言する関下事務局長。がんじゃ里山の会は平成16年に発足、八戸市蟹沢地区で生態系保全活動などを開催している。

町は、2月1日、町民交流センターで平成25年度おいらせ町美しい里山づくりフォーラムを開催しました。町民、関係者合わせて約50人が「住民協働による里山づくり」を学びました。

はじめに町長が「自然あふれる環境が減少し、自然を法律で保護する時代になった。里山とは何かを学び、里山づくりを通じて町の原風景を学んでほしい」とあいさつ。続いて岩手大学農学部の山本清龍准教授が『公園の役割と東日本大震災後の地域活性化』をテーマに基調講演を行いました。

山本准教授は「里山は人間の営みと自然との良好な関係から形成された風景。環境教育は子供に学ぶ喜びを与え、公園はコミュニティの維持にも役立つ。震災以降、三陸復興国立公園の開園やウォーキングイベント等で地域が持つ自然の宝が観光産業につながり、復興に役立つものと期待されている」と語りました。

その後、事例発表やパネルディスカッションにより、里山づくりに多くの意見が出されました。



▲グループ討議の様子。参加者全員が、いじめや教育に対する意見をふせんに書き、それを模造紙の上にまとめていく

◀ グループ討議の中で、自分自身の体験から、いじめへの対策を訴える中村貴子主任児童委員

「いじめ無い標語」を作成し、表彰をうけた児童・生徒たち▶



教育懇談会

語ろう子どもの教育 in おいらせ 25 編

子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域ができることをテーマに、子どもたちを取り巻くネット社会とネットを利用したいじめの実態について語り合いました。



自^じ治^ち
の
これから



▲「スマホは与えっぱなしではいけない。まずは親が基本。ルールを守らないなら没収するなど、家庭での約束から始めることが必要」と語った県教育庁学校教育課櫻田道夫主幹。ネット上のゲームサイトなどに依存する子どもたちが、有害情報サイトの被害にあう事例を紹介した。



▲「現代はネット社会。携帯電話は高校生のほとんどが所持、タブレットは3歳児でも使えます。『子供にスマホを持たせなければいい』というだけでは片手落ち、かえってトラブルに巻き込まれて危険」と語る県警察本部生活安全部の笹弘道対策官。現代は子どもの『体験活動』が足りないと指摘。自己有用感(自信)とコミュニケーション能力、ネット知識の習得が必要、と続けた。



いじめの無い町にしたい、インターネットいじめの予防策は？

どの取り組みも「いろんな人が集まって話し合うこと」が共通していたね。

皆で集まって、話し合うことが、「自治」をすすめるために、とても大事なだね。



「教育懇談会 語ろう子どもの教育inおいらせ25」は、1月25日、町民交流センターで開催されました。

はじめに、『いじめ無い標語』の表彰式が行われ、標語を作成した児童・生徒が表彰されました。

続いて行われた講話「ネット利用を考える 被害の実態と予防」では、県教育庁や県警察本部の担当者が、インターネットを使いたいじめの実態についての事例を紹介しました。最後のグループ討議では、出席者全員が、「いじめ」をテーマに語り合い、参加者からはさまざまな意見が出されました。

住宅を新築する子育て世帯などへ、助成金を交付します

平成 26 年 4 月 1 日
地域の元気再生定住促進事業がスタート

児童数及び人口減少を抑止するために 活気に満ちた地域づくりのために

小学校児童数が著しく減少している甲洋小学校区と下田小学校区に、住宅の新築などにより定住する子育て世帯などに対し、助成金を交付します。
詳しくは、企画財政課へお問い合わせください。 ☎企画財政課 0178 56 4273

●対象地域

- ①甲洋小学校区(おいらせ町深沢平、内山平、向平、一川目、深沢、二川目)
- ②下田小学校区(おいらせ町西下川原、明土、丈ノ端、萱ノ前、南下田、上谷地、赤田前、館越、上水下、三九郎、阿光坊、神明前、新敷、洗平、瓢、西後谷地の一部、中谷地、向山の一部、上川原の一部)

●助成対象者 (下記全てに該当する世帯の代表者)

- (1)平成 26 年 4 月 1 日以降に、対象地域に住宅を新築、購入または戸建住宅(※1)を賃借した若者世帯(※2)、または子育て世帯(※3)
- (2)転入世帯(※4)または転居世帯(※5)で、上記住宅に 10 年以上定住する世帯。
ただし、戸建住宅を賃借する場合は、1 年以上居住する世帯。
- (3)地域の活性化の推進に協力する意思を有する世帯
- (4)町税等滞納がない世帯

- ※1 戸建住宅……一戸建て住宅で、現に人が使用していない建築物(空家)。
- ※2 若者世帯……申請日において、夫婦いずれも 40 歳未満である世帯。
- ※3 子育て世帯……申請日において、中学生以下の子どもを扶養する世帯または妊婦がいる世帯。
- ※4 転入世帯……申請日において、町内に転入して 1 年未満であり、転入した日の前日まで連続して 3 年以上町外に居住していた世帯。
- ※5 転居世帯……転居した日の前日まで連続して 1 年以上、町内の助成対象地域以外の地域に居住していた世帯。

●助成金額

(1)住宅取得等助成金

- ①新築住宅 上限 150 万円
- ②中古住宅 上限 100 万円
- ③戸建住宅の賃借 12 ヶ月経過後→12 万円、24 ヶ月経過後→12 万円、
36 ヶ月経過後→12 万円 合計 36 万円

(2)子育て世帯助成金(戸建住宅を賃借する世帯を除く)

- ①中学生以下の子どもを扶養する場合、子ども 1 人当たり 20 万円

災害時要援護者台帳（見守りマップ） に登録をお願いします

町まちづくり防災課 ☎ 0178 56 2131

町は、災害が発生した際に、家族などの援助が困難で何らかの助けを必要とする人たち（災害時要援護者）の台帳整備を進めています。

この台帳は地域の民生委員児童委員、消防、警察、地域支援者*（隣近所で支援していただける人）などに提供し、地域での見守りと災害が発生した際に支援が得られる仕組みづくりを図っていきます。



災害時要援護者とは

災害が発生した際に、家族などの支援が受けられない、または家族だけでの支援が困難で、第三者の支援が必要と想定される人をいいます。「心身が不自由な人」「家族の支援が受けられない人」など、具体的には次のような人を登録の対象者としています。

- (1) 65歳以上の一人暮らし高齢者
- (2) 介護保険における要介護度3以上の在宅生活者
- (3) 身体障がい者（1級～3級）
- (4) 知的障がい者（A）
- (5) 75歳以上の高齢者のみの世帯の構成者
- (6) その他援助を必要とする人

登録希望者へ（随時受付）

登録希望者は、できるだけご自身で協力できる地域支援者を見つけて、申請書に記入のうえ、まちづくり防災課（役場本庁舎）、介護福祉課（役場分庁舎）、地域包括支援センター（いきいき館内）まで提出してください（地域支援者は、提出後に見つけても構いません）。なお、申請書は、提出先に備え付けているほかに、町のホームページからもダウンロードできます。

※高齢者などですでに民生委員に「見守りマップ」の申し込みをされている人は、登録済みのため申し込みは不要です。



災害時要援護者登録制度とは

災害時要援護者の中で、制度への登録希望者について、町が台帳を作成します。台帳には、要援護者の住所、氏名、生年月日、家族構成などの個人情報が記載されます。登録に際しては、できるだけご自身で地域支援者（隣近所で支援できる人）を見つけて、あわせて登録を行います。

作成された台帳は、災害時要援護者が住んでいる地域の民生委員児童委員や地域支援者にお渡しし、地域の中で日頃の見守りと災害発生時の支援体制を整えるために活用していただきます。

その他にも、町内会や地区自主防災組織などで地域で災害時要援護者の支援活動を行う団体には、誓約書の提出、または協定を締結したうえで、台帳を提供することがあります。

なお、台帳には、個人情報が記載されますので、登録時には、情報提供してもよいという、ご本人の同意が必要となります。

※地域支援者とは

要援護者に対する普段からの見守りや、災害が発生しそうな場合、また発生した際に、災害に関する情報を伝えたり、一緒に避難したりするなどの支援に心がけていただく人です。

いざという時にすぐに支援ができるように、要援護者の隣近所の方々をお願いしたいと考えておりますが、決して責任を伴うものではありません。

普段からよい近所付き合いを心がけ、その中で支援してください。

この制度に登録したからといって、災害時に必ず助けてもらえるというものではありません。災害に備えて、普段から自分でできることは自分で行うよう心がけましょう。

横浜町

参加者に特製タオル配布

第24回よこはま菜の花マラソン大会

●大会申込締切：3月28日(金)

●日時 5月18日(日)

(前日祭17日)

●場所 横浜町大豆田地区

〒横浜町産業振興課

☎0175-78-2111 (内線351)

エントリー事務局

☎0463-35-6691

七戸町

抽選による記念品も

毎日放送プロ野球解説者太田幸司講演会

「我が人生のいろいろ」
～還暦を過ぎて思う～

●日時 3月16日(日)

13時半開場

●場所 農村環境改善センター

〒七戸町文化協会事務局

(七戸中央公民館)

☎0176-68-2920

十和田市

建築家と現代美術館設計者のユニット活動

妹島和世 + 西沢立衛 SANAA 展

●日時 3月30日(日)まで

●場所 十和田市現代美術館

〒十和田市現代美術館

☎0176-20-1127

十和田湖・奥入瀬の自然を満喫する遊び方

ネイチャーガイドが教える 十和田湖・奥入瀬の楽しみ方講座

●日時 3月2日(日)、9日(日)、16日(日)

13時～15時

●場所 十和田市民文化センター

※申し込み期限 各講座開催3日前

〒青森県観光国際戦略局

まるごとあおもり情報発信チーム

☎017-734-9389

投げ銭ライブ、被災地グッズの販売

東日本大震災を忘れない Pray for the EARTH 2014

●日時 3月9日(日) 10時～

●場所 駒っこランド

〒Pray for the EARTH 実行委員会・矢澤

☎080-5425-2060



上十三・十和田湖広域定住自立圏の
イベント情報をお伝えします。

三沢市

ホッキ貝の魅力堪能

三沢ほっきまつり

●日時 3月16日(日) 9時半～14時

●場所 三沢漁港魚市場内

※試食会等は無くなり次第終了

〒三沢市漁業協同組合

☎0176-54-2202



“浜のカッチャ”の味を伝授

町は、1月23日、いきいき館でホッキ貝料理教室を実施しました。百石町漁協女性部を講師にむかえ、ホッキ味噌やホッキなますなど、“浜の家庭”で愛されている料理、計5品を参加者15人が学びました。

参加した工藤美保さん(一川目)は「ホッキ貝を使った調理は初めて。とても勉強になりました」と話していました。

好評につき再開催

おいらせ冬の味覚、ホッキ貝の料理教室を開催します

▼ホッキ貝の剥き方を覚えたい▼ホッキ貝を使った料理を覚えたい▼料理のバリエーションを増やしたい。そんなご要望に地元漁協の女性部がお応えします。参加は無料、未経験者大歓迎です。参加者には特製レシピをプレゼント。申し込みは先着順です。募集人数に達した場合、受付を締め切ります。あらかじめご了承ください。



●日時 3月12日(日)

10時～13時

●場所 いきいき館調理室

●講師 百石町漁協女性部

●募集人数 20人

●内容 ホッキ貝のむきかた・調理の仕方

●調理品目 ホッキ味噌、ホッキサラダなど計5品

申込者には別途、詳しい開催案内をお送りします。

申込期限 平成26年3月6日(木)

※1月23日開催の実施内容と同じです。
前回参加した方のご応募はご遠慮ください。

申し込み 町農林水産課 ☎0178-56-4279

役場（町民課）の一部窓口を開庁します

3月29日(土)、30日(日)、
4月5日(土)、6日(日)

開庁時間 9時～13時

転入転出時期にともなう混雑緩和のため、土曜・日曜に、受け付け窓口を開庁します。転入転出などの住所を移す届出ができるほか、住民票の写しなど各種証明書の発行をしています。どうぞご利用ください。

●取扱業務

- ◎住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍関係などの各種証明書の発行（税証明は発行できません）
- ◎住所の異動とそれに伴う児童福祉関係や国民健康保険資格の手続き

●その他

他の機関への確認が必要な業務など、平日と同様には取り扱いできない業務があります。詳しくは、事前にお問い合わせください。

なお、窓口では本人確認を実施しておりますので、免許証など本人確認ができる書類をご持参ください。

岡町民課 ☎ 0178 56 2246

北部出張所でも各種証明書を発行しています

発行している証明書など

- 住民票、町名変更の証明書
- 戸籍謄本、戸籍の附票
- 印鑑証明書
※登録・廃止・再発行の手続きはできません
- 所得証明書・課税所得証明書
- 納税証明書（車検用含む）
- 評価証明書など資産に関する証明書
- 粗大ごみ処理券 など

※住所変更、戸籍届出、保険証交付などは
取り扱いできません。

※運転免許証、保険証など本人確認が
できる公的書類を持参ください。代理での
手続きは委任状が必要な場合があります。



●開庁時間

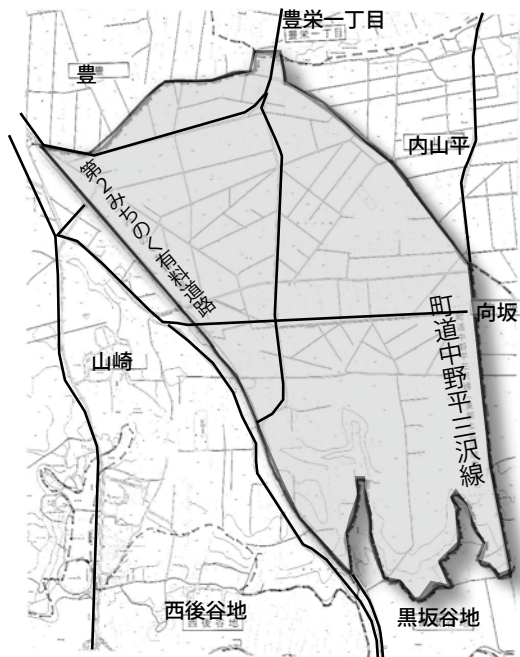
平日（月～金、ただし祝日除く）8:15～17:00

岡おいらせ町役場北部出張所 ☎ 0176 50 1208
青森県上北郡おいらせ町青葉二丁目 50 番地 1395

平成 26 年度の「字向山」名称変更

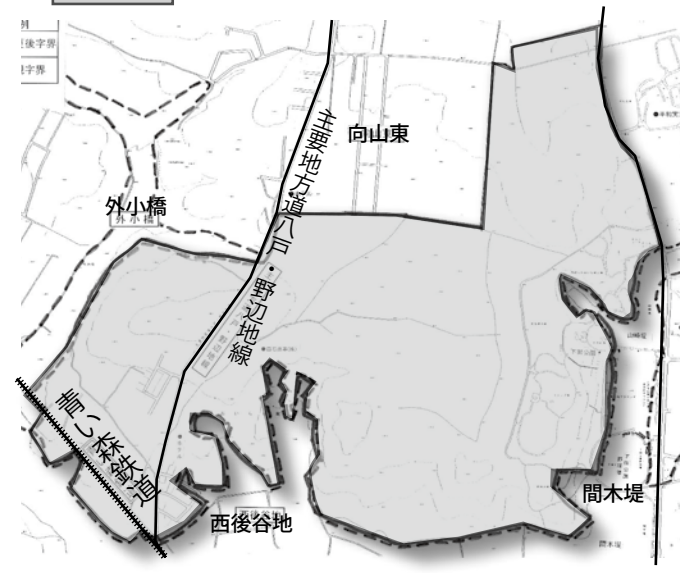
町は、平成 21 年度より、「字向山」の名称及び字界の変更をしています。

平成 26 年度では、次の地区の名称及び字界を変更する予定としております。

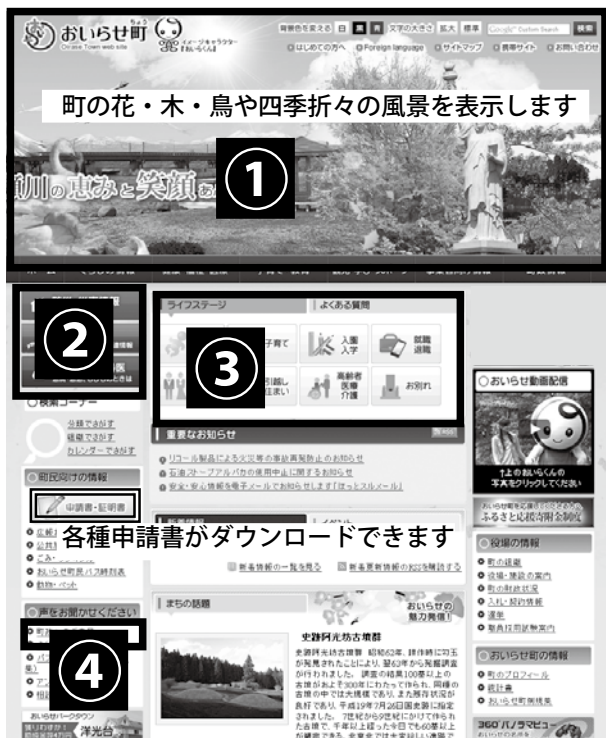


平成 26 年 3 月 17 日 18 時から中央公民館で事業についての説明会を開催しますので、対象となる区域（国道 45 号北側の曙町内会）にお住まいの人や、資産を有している人はお問い合わせのうえご参加ください。

が対象予定区域です



企画財政課 ☎ 0178 (56) 4273



※リニューアル直後は、サーバーの切り替えにより、一時確認できないページが生じる場合があります。ご了承ください。

<http://www.town.oirase.aomori.jp/>

3月に町ホームページをリニューアルします

町ホームページには、最新情報だけではなく、過去のお知らせなど様々な情報を掲載しています。

各課からのお知らせや広報を閲覧できるほか、各種申請書の様式をダウンロードをすることができます。他にも多様な情報が掲載されていますので、ぜひご活用ください。

① トップイメージ

町のキャッチフレーズ「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」をイメージしてもらえよう、青色を基調にしたデザインにしています。

③ 暮らしのガイド

妊娠や子育て、医療、介護など、内容をライフステージごとに分類し、身近な暮らしの情報を検索しやすくしています。

② 防災・災害情報

防災・災害情報などの重要なお知らせを掲載します。また、緊急時には専用画面に切り替えて情報を掲載します。

④ 広報おいらせ

平成 2009 年 4 月号から最新号までの広報を掲載しています。また、合併前の広報「広報ももいし」「広報しもだ」をご覧いただけます。

企画総務課 ☎ 0178 (56) 2166

国民健康保険

INFORMATION

1 資格異動のときは必ず届け出を

14日以内に環境保健課または町民課へ届け出しましょう。

●国保に加入するとき

- ① 職場の健康保険を抜けたとき
- ② 職場の健康保険に加入しておらず、転入したときや出生があったとき
- ③ 生活保護を受けなくなったとき

●国保を抜けるとき

- ① 職場の健康保険に加入したとき
- ② 職場の健康保険に加入しておらず、転出したときや死亡したとき
- ③ 生活保護を受け始めたとき
- ④ 後期高齢者医療制度に移行したとき

届け出が遅れると、保険証を病院などに提示できず医療費が全額自己負担になったり、保険税が二重払いになったりする場合があります。また、保険証が切り替わったときは、病院にも連絡してください。

2 交通事故のときは必ず届け出を

交通事故などで第三者から傷病を受けた場合も、国保を使って受診できますが、環境保健課への届け出が必要となります。

加害者から治療費を受け取ったり、示談を済ませたりすると国保を使えなくなります。注意してください。詳しい内容は気軽に問い合わせてください。

☎環境保健課 ☎0178 56 4218

高額医療・高額介護合算制度を利用できます

医療保険と介護保険の限度額を適用後、両方を合わせた年額が、下の表の額を超えたときは、超えた分の金額をお支払いいたします。対象費用や所得区分など、詳しい内容は、お気軽に問い合わせてください。

●対象期間 8月1日から翌年7月31日までの1年間

●申請場所 環境保健課、町民課

※基準日(7月31日)に、国保・後期高齢者医療制度以外の保険に加入していた人は、加入していた医療保険へ申請

●申請に必要なもの

保険証(国保または後期と介護保険の両方)、認印、通帳

●合算した場合の自己負担限度額

年齢	所得区分	合算時の限度額
70歳未満	一般	67万円
	上位所得	126万円
	住民税非課税世帯	34万円
70歳以上	一般	56万円
	現役並み所得者	67万円
	低所得者Ⅱ	31万円
	低所得者Ⅰ	19万円

●その他 後期高齢者医療制度に加入されている人で、支給対象となる人へは、2月下旬に個別に通知しています。なお、支給対象となる世帯でも、対象期間の途中に加入した人や転入してきた人がいる場合などは通知がなされない場合があります。心当たりのある人はお気軽に問い合わせてください。☎環境保健課 ☎0178 56 4218

その他の被用者保険に加入している方は、ご加入の医療保険に直接お問い合わせください。

学生用の国保保険証 該当者は申請・更新を

☎環境保健課
☎0178 56 4218

●新規の人 親元を離れ町外に転出する学生には学生用保険証が申請により交付されます。

※対象は学校教育法で定める学校に通学する人で、
●更新の人 現在交付されている学生用保険証は26年3月31日で期限が切れます。該当者は更新申請が必要です。

●卒業する人 学生用保険証返還の届け出が必要です。

●必要なもの 印鑑、国保保険証、在学証明書(学生証は不可)

●申請場所 環境保健課または町民課

国保・退職者医療制度 該当者は届出を

退職者医療制度とは、65歳未満の国保加入者で、厚生年金や各種共済組合などの年金を受けられ、その加入期間が通算20年以上、または、40歳以降で10年以上

ある人(退職被保険者本人)と、その人の65歳未満の被扶養者が対象となります。

退職者医療制度は、職場の健康保険などからの拠出金が財源の一部となっています。この制度が適正に適用されないと、国保が負担する医療費の増大を招き、将来的に保険税が増税になる可能性があります。該当者は届出をしてください。

ジェネリック医薬品を 上手に使いましょう

ジェネリック医薬品とは、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分でつくる後発医薬品のことです。開発費用がかかっていないので価格が安く、薬代の負担軽減につながります。病院などから薬を処方してもらったときに「ジェネリック」にしてください。ジェネリックと相談してみましよう。環境保健課と町民課では、病院などの相談時に提示するジェネリック希望カードを配布していますので、欲しい人はお気軽に申し出てください。



『介護予防のための地域支援者研修会』を開催しました



▲大久保幸恵インストラクターによるレクリエーション



▲手足を動かし、頭もスッキリ！

高齢者ができるだけ
 慣れた地域で安心して
 暮らせるように、またふ
 れあい訪問やいきいきサ
 ロンを通して地域での見
 守りや仲間づくりが広が
 るように、今後も地域支
 援者と連携した活動をす
 すめていきます。

地域包括支援センター
 は、地域支援者研修会を
 2月5日と14日の二日間
 にわたって開催しました。
 これは、ほのぼの交流
 協力を対象にした認知
 症についての研修で、の
 べ65人が参加しました。
 5日の第一講座では今
 後急激に増加が見込まれ
 る認知症についての正し
 い知識と接し方・予防方
 法について、14日の第二
 講座では高齢者におこり
 やすい心の病の対処方法
 をテーマに実施しました。
 参加者たちは認知症や
 心の病気の早期発見や声
 掛けの仕方、脳を活性化
 する手遊びやレクリエー
 ションなどを、講師と一
 緒に体験しながら学びま
 した。

岡おいらせ町地域包括支援センター ☎ 0178 ⑤2 7086

赤ちゃんのために準備を始めよう

～そろそろ赤ちゃんを、と考えているあなたへ～

その1 風しんワクチンの接種を考えよう

妊娠した女性（特に妊娠20週頃まで）が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの「先天性風しん症候群」を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

妊娠を希望される人は、風しんワクチンの接種をご検討ください。接種費用や抗体検査について、助成を行っています。

その2 健康チェックをしよう

- ・極端なダイエットや太りすぎは、妊娠に悪影響
- ・性感染症は不妊や流産の原因になることも
- ・妊娠してからの禁煙では、赤ちゃんへの影響を完全に予防できません

（風しん）

岡山健康福祉部保健衛生課 ☎ 017-734-9215

（禁煙）

岡山健康福祉部子どもみらい課 ☎ 017-734-9303

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。 ペットボトルのキャップやラベルははずしてください。

町内会	有楽町/阿光坊/本村 新敷/錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶉久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苔米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地 藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口 明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	3月28日(金)	3月25日(火)	3月24日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 3月5日(水) プラスチック 3月19日(水)	紙 3月12日(水) びん 3月26日(水)	
粗大ごみ	3月14日(金)・28日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

岡環境保健課 ☎ 0178 ⑤6 4218

3 ♪おいらせ健康カレンダー♪

日・曜	行事名	時間 ※は受付時間	場 所	備 考
1	(土)			
2	(日)			
3	(月) 健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	お口の健康に関心がある65歳以上の人
4	(火) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	認知症予防教室	9:30-13:00	北公民館	
5	(水) 2~3カ月児健康相談	※ 10:00-10:30	いきいき館	対象 * 平成25年12月生まれの子ども
	乳幼児健康相談	13:00-13:30	いきいき館	月齢は問いません
6	(木) 転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
7	(金) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士の運動指導
8	(土)			
9	(日) 知って得する糖尿病講座	10:30-12:00	東公民館	詳細はP 28
10	(月)			
11	(火) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	1歳6カ月児健康診査	※ 12:30-12:45	いきいき館	対象 * 平成24年8月生まれの子ども
12	(水) 転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
	9~10カ月児健康相談	※ 10:00-10:30	いきいき館	対象 * 平成25年5月~6月生まれの子ども
	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
13	(木) 転倒予防自主トレーニング	10:00-11:30	老人福祉センター	
	女性のための健康教室	15:30-17:00	東公民館	詳細はP 28
14	(金) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士の運動指導
15	(土)			
16	(日)			
17	(月)			
18	(火) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
19	(水) 転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士による運動指導
20	(木) 転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
21	(金) 愛の献血	10:00-12:00 13:15-16:00	イオンモール下田	
22	(土)			
23	(日)			
24	(月)			
25	(火) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	2歳6カ月児健康診査	※ 12:30-12:45	いきいき館	対象 * 平成23年8月~9月生まれの子ども
26	(水)			
27	(木) 転倒予防教室	10:00-11:30	老人福祉センター	理学療法士の運動指導
	転倒予防自主トレーニング	10:00-11:30	のびのび館	
28	(金) リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士の運動指導
	3歳児健康診査	※ 12:30-12:45	老人福祉センター	対象 * 平成22年9月生まれの子ども
29	(土)			
30	(日)			
31	(月)			

「眠れない日」が 続いていませんか？



不眠の 4症状

- ① 入眠障害にゅうみんしょうがい…床に入っても30分以上寝付けない状態が続く。
- ② 中途覚醒ちゅうとかくせい…夜中に何度も目が覚めて、再び眠るまで時間がかかる。※
- ③ 早期覚醒そうきかくせい…予定の起床時間より2時間以上早く目が覚めてしまう。※
- ④ 熟睡障害じゅくすいしょうがい…睡眠時間の長さに関わらず、ぐっすり眠った感じがしない。

※②と③は年代が上がるにつれ増える傾向があります。



「不眠」と 「うつ病」

「よく眠れない」人に知ってほしいのが「不眠」と「うつ病」は関わりが深いということです。

うつ病患者の9割に不眠症状が見られたという統計があります。

慢性的な不眠がうつ病に移行することもあるため、「眠れない日が2週間以上続く」ようであれば専門の医療機関やかかりつけ医に早めに相談しましょう。

「うつ病」治療は 早いほど良い

うつ病は適切な治療をすれば必ず良くなる病気です。また早期発見するほど短期間で回復します。

「うつ病」を放置すると、症状が深刻化し、自殺に追い込まれてしまう場合もあります。

自分自身や大切な家族、友人の心と体の変化に気づき大切な命をみんなで守りましょう。



3月は
自殺対策強化月間

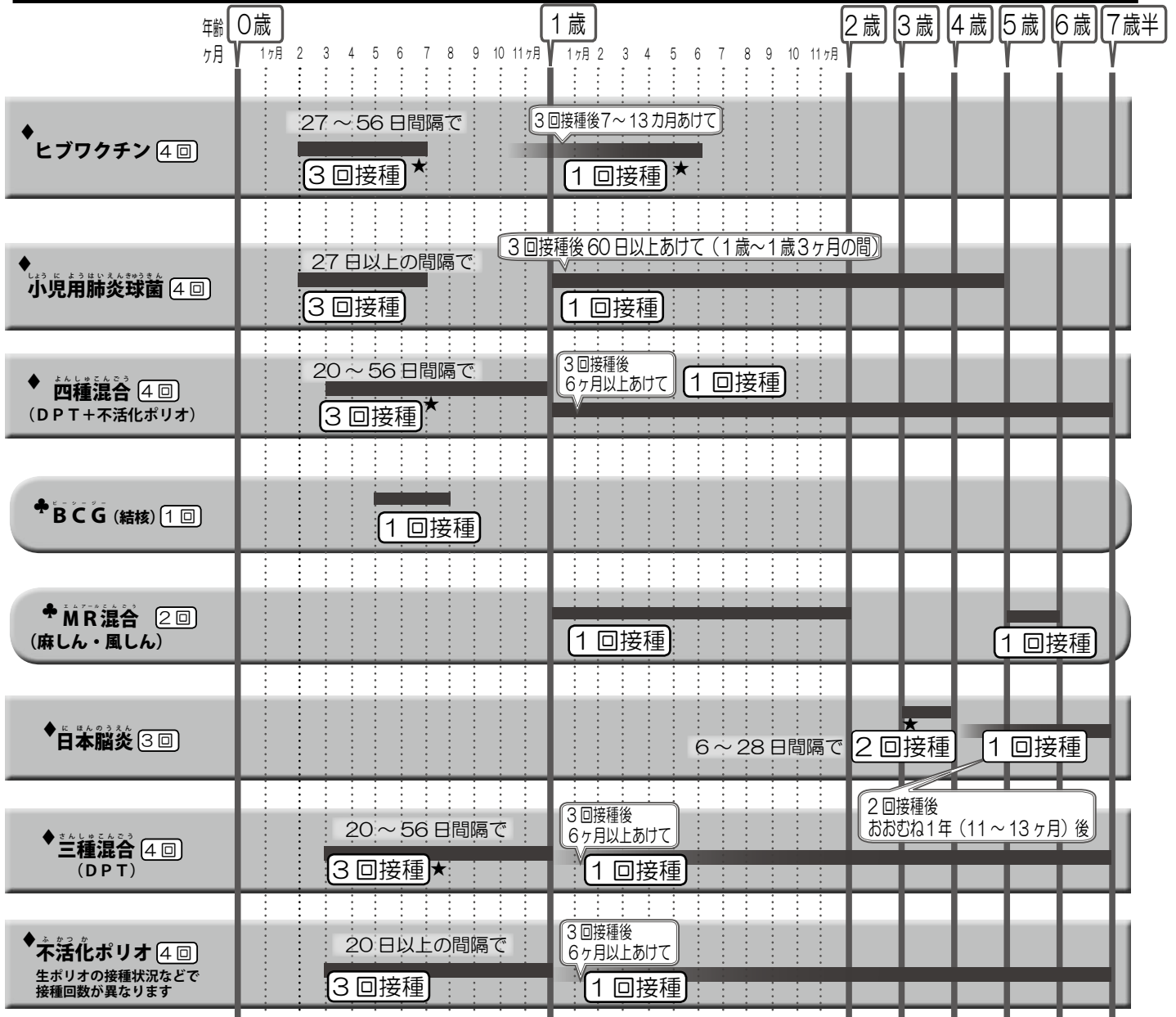
- 眠れない
- 食べれない
- 気分が落ち込む

2週間以上続いたら
受診しましょう。

環境保健課（分庁舎）こころの相談窓口電話 ☎ 0178 56 4218

26年度乳幼児定期予防接種

忘れずに予防接種をしましょう。下記医療機関へ、接種希望日の3日前までに電話予約してください。



★印…発熱など医学的理由がなく、接種間隔を超えて接種すると、有料になります。ただしその状態が解消された後、速やかに接種すると、予防接種法に基づく接種とみなされ、無料で接種できます

◆印…別のワクチンを接種する場合は、4週間後の同じ曜日からです ◆印…別のワクチンを接種する場合は、1週間後の同じ曜日からです

個別接種を行う医療機関

医療機関	おいらせ病院	石田温泉病院 ※不活化ポリオ実施無	下田診療所	このの医院	ケイクリニック ※日本脳炎実施無	青い森子どもアレルギークリニック
電話番号	0178 ② 3111	0178 ② 3611	0178 ⑤ 3116	0178 ⑤ 8066	0176 ③ 6000	0176 ⑤ 7400
接種曜日	④、⑤ (BCGは④のみ)	①、⑤ (⑤は要相談)	①~⑤	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	①~⑤	④、⑤、⑥
受付時間	14:00~14:30	15:30~16:30	8:30~11:30 14:00~17:30 (⑤は14:30まで)	11:30~12:30 15:30~17:15	8:30~12:30 14:30~18:30 (④⑤8:30~12:30)	14:00~15:00
電話予約 受け付け	平日 8:30~16:30	平日 8:30~16:30 ⑤ 9:00~11:30	同上	同上	同上	8:45~12:45 14:00~17:45 ④⑤ 8:45~12:45
休診日	⑥ ⑦ ⑧	⑦ ⑧	⑦ ⑧	④、⑤	⑦ ⑧	⑦ ⑧

事前に配られている予防接種のパンフレットを必ず読んでください。
接種当日は必ず事前に検温し、体温を予診票に記入しましょう。

接種当日は、予診票と母子健康手帳を忘れず持参しましょう。
町外で接種を希望する人は、事前に環境保健課へ連絡してください。

おいらせ スポーツ

過去最多 65 チームが熱戦を展開！

- ・ 1部 (一般・高校生) : 18 チーム
- ・ 2部 (一般・中学生) : 20 チーム
- ・ 3部 (女子サッカー・小学5・6年生) : 17 チーム
- ・ 4部 (3・4年生) : 10 チーム



■決勝トーナメント試合結果

【1部】 決勝

FC BANA 1 : 1 ちーむたなか
PK 2 : 1

【2部】 決勝

TIARA 3 : 3 せいりゅう
PK 2 : 1

【3部】 決勝

百石 U-12 6 : 1 湊 S

【4部】 決勝

下田 U-10 3 : 0 桔梗野 U-10

このほど、町サッカー協会（平野敏彦会長）が主催するフットサル大会が、いよいよ公園体育館で開催され、町内の小中高校生、一般から65チームが参加して各部門ごとに白熱したゲームを展開、心地良い汗を流しました。大会は、小学4年生までの4部と、5・6年生・一般女子の3部、中学生・一般の2部、高校生・一般（現役）サッカー経験者の1部と4部制でおこなわれ、参加者は大きな声援を受けながら、コートいっぱい駆け回っていました。

第24回日本フットパッカー カップ争奪フットサル大会



町グラウンド・ゴルフ 協会が表彰されました

町グラウンド・ゴルフ協会（山崎斉会長）は、1月18日、日頃から百石小学校生徒への指導や地域との親睦を図っているとして、県教育委員会より平成25年度青森県優良スポーツクラブ賞を表彰されました。山崎会長は「百人を超える会員の日頃の活動が評価されたものだと思います。これからも町のため、スポーツ振興に力をいれていきたい」と意欲を見せていました。



町民フライン・ボール 大会を開催します

町民であれば誰でも参加できます。参加者全員に参加賞があります。また、団体の部・個人の部にもそれぞれ表彰があります。

●日時 3月26日(水)9時～

●場所 町民交流センター

●参加料 300円

●申込期限 3月12日(水)

●申し込み

①町民交流センター

☎0178-564711

②楢山忠

☎090-3757-1414

自然に親しみながら体力づくり、健康づくり、友達づくりをしませんか

『ももいし歩こう会』新会員募集



浅所海岸・雷電橋

- 対象** おいらせ町民
- 活動内容** 4月から翌年2月まで年11回程度活動（主に土日）／歩く距離は10km前後。（長い距離を歩けない会員のために5km前後のコースも準備）／年1回の一泊ウォーキング／年3回以上の幹線道路の清掃活動を実施
- 年会費** 1,500円（夫婦で加入の場合は、妻1,000円）
- 保険料** 65歳以上は1,000円、65歳未満は1,850円
- 申込方法** 3月31日④までに住所・氏名・年齢を添えて電話またはFAXで申し込みください。
- 申込先** ももいし歩こう会事務局 赤垣義代
☎ 0178-52-6527（FAX 兼）
〒039-2215 おいらせ町下屋敷 41-16

4月上旬に定期総会を開催予定

『ゆっくりウォークおいらせ』参加者募集



奥入瀬溪流を歩く

- 対象** おいらせ町民
- 活動内容** 年10回程度（主に平日）、1日あたり10km前後を歩きます。1回目は説明会と合わせて下田公園周辺のウォーキング、2回目以降は里山などを歩きます。
- 参加費** 1回あたり500円から3,000円程度
- 入会費** 1,000円（通信費） ※夫婦で参加する場合、妻の入会費負担はありません。
- 保険料** 65歳以上は1,000円、65歳未満は1,850円
- 申込方法** 3月26日④17時までに入会費と保険料を持参し申し込んでください。
- 申込先** ゆっくりウォークおいらせ実行委員会（町民交流センター内）☎ 0178-56-4711

1回目の活動 開会式／4月5日④9時・農改センター
事前に保険を掛けるため4月1日以降はキャンセルしても返金できません。ご了承ください。



小さな掛金・大きな補償 スポーツ安全保険に 加入しませんか



▼スポーツ活動▼文化活動▼ボランティア活動などに適用されます。

加入要件	5人以上の団体
対象となる事故	団体活動中の事故、往復中の事故（自動車事故による賠償責任は適用外）
補償内容	傷害保険（通院、入院、後遺障害、死亡） 賠償責任保険・突然死葬祭費用保険
加入受け付け期間	3月1日から翌年3月30日
保険期間	平成26年4月1日（午前0時）～平成27年3月31日（午後12時）
掛金	1人年額800～11,000円 活動内容等により金額に違いがあります。

☎スポーツ安全協会青森県支部 ☎017-782-6984

詳しくは <http://www.sportsanzen.org> まで

「阿光坊古墳群を学ぼう2014」

16基の古墳が整備された阿光坊古墳群について、内容やこれからについて町職員が分かりやすく解説します。全3講座。問い合わせ、申し込みは社会教育・体育課 ☎ 0178 ☎ 4276 まで。

- 日時 第1講座 4月10日(ⓧ) 14時から15時
- 第2講座 4月17日(ⓧ) 14時から15時
- 第3講座 4月24日(ⓧ) 14時から15時
- 場所 東公民館2階会議室



おいらせアーカイブス File_72

青森ヒバ
(ヒノキアスナロ)

阿光坊遺跡の南側に町の文化財指定の青森ヒバ(樹齢三百年?)がスギ林に囲まれて立っている。青森ヒバと呼ばれるように青森を代表する木であり、北海道の渡島から栃木県の日光まで分布する日本原産の一種の木である。

材は柔らかく黄白色で芳香があり、ヒノキチオールを豊富に含有し、殺菌性、耐湿性に優れ、建材や船舶材、家具等に利用され高級材としてトップにランクされている。青森ヒバは秋田スギ、木曾ヒノキと共に日



本三大美林に推奨されていて、下北半島に今も美しいヒバの原生林が残っている。青森ヒバの歴史は古く、平安末期、平泉の中尊寺の金色堂の建設に青森ヒバが使われたことが記録に残っている。その後、全国各地の城の建設のために青森からヒバが送られている。

今から約千年前の津波で東通村猿ヶ森のヒバの埋没林ができたと言うことから、おいらせ町に残ったこのヒバは、かつてのうっそうと茂っていた青森ヒバの森を彷彿とさせる記念碑と言えるのではないか。

文/文化財保護審議会委員
津曲 隆信

民具ふれあい館

民具ふれあい館で昔の生活を学ぶ

2月6日、木ノ下小学校3年生4クラスが民具ふれあい館を見学に来ました。

児童たちは囲炉裏を囲んで座ったり、ミノを着たりツマゴを履いて、当時の人々の生活を体験しました。電気、ガス、水道が備わった現代の豊かな生活と、井戸、ランプ、カマドの生活を比較し、当時の人々が不便な生活の中で様々な工夫をしていたことに驚いていました。また、「ゲームがないし、寒いのは嫌だな」と、平成の豊かさを実感していました。



▲民具ふれあい館では木ノ下地区から寄贈された600点以上の民具を展示しています

将棋大会

町内小学校対抗将棋大会



1月25日、大山将棋記念館で第8回おいらせ町内小学校対抗将棋大会が行われました。学年ごとに3人でチームを組み、全6チームによるリーグ戦で対局。大会結果は、高学年の部では百石小学校Bチームが全勝し優勝、木ノ下小チームが準優勝。低学年では百石小Cチームが優勝、百石小Bチームが準優勝となりました。

木ノ下小の三上航輝くんは「5戦中4勝したが、今日のはうまく指せなかった」と冷静に対局後の分析をしていました。

郷土カルタ

甲洋小学校郷土カルタ大会



甲洋小学校（堤篤敬校長）は、2月4日、校内郷土カルタ大会を開催しました。

この大会は、町の伝統を残していくため、平成5年の甲洋小卒業生が制作した郷土カルタを使って、毎年全校生徒が行うものです。

「洋光台 住みたくなっちゃう うちいっぱい」などの句が読み上げられると、生徒たちは元気に札を取り合っていました。

参加した三浦杏里さんは「20枚取って、勝つことができました。楽しかったです」と話していました。

図書館／新着図書

○ irase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。

一般書

ペテロの葬列

宮部 みゆき 著



拳銃を持った老人によるバスジャックに遭遇した杉村。あっけなく解決したかに見えた事件の動機の裏側には、深い闇が隠されていた……。「誰か」「名もなき毒」に続く杉村三郎シリーズ第3弾。

一般書

私のなかの彼女

角田 光代 著



ごくふつうに恋愛をしていたはずなのに、和歌と仙太郎の関係はどこかでねじ曲がった。全力を注げる仕事を見つけ、ようやく彼に近づけたと思ったのに……。

一般書

名もなき日々を

宇江佐 真理 著



伊三次とお文に支えられ、絵師修業を続ける息子の伊与太。一方、女中奉公に出た茜の運命は、大きく動きはじめ……。廻り髪結いの伊三次とお文夫婦の周りで起こる心揺さぶられる事件の数々。

一般書

勘三郎伝説

関 容子 著

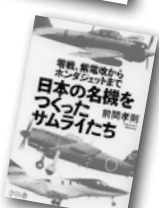


芝居の世界に身を捧げ57歳で早世した十八代中村勘三郎。長年親交のあった著者が、人を愛し、芝居を愛した稀代の名優の生涯を描く。

一般書

日本の名機をつかったサムライたち

前間 孝則 著



零戦、YS-11、紫電改……。航空ノンフィクションの第一人者が、堀越二郎、東條輝雄、菊原静男など、傑作機をつかった設計者ら取材。彼らの生涯と名機誕生までの経緯を克明に追う。

ほかにも新着を取りそろえています

向かい風で飛べ！(乾ルカ)／駅物語(朱野帰子)／クロノス(神永学)／虹、つどうべし(玉岡かおる)／わたしをみつめて(中脇初枝)／インフェルノ(ダン・ブラウン)／三谷幸喜創作を語る(三谷幸喜)／3・11を心に刻むブックガイド(草谷桂子)／田舎の実家の片づけ方(赤澤健一)／血盟団事件(中島岳志)ほか

図書館の行事

○ irase-library event information

■本展示

◎一般【あの日を忘れない ～3・11～】

大震災から3年。震災関連の本。

◎児童【花いっぱい】

お花や春にちなんだ本。

(図書館あそぼと) MOMOおはなしの会

3月22日④ 14時から

(図書館あそぼと) 幼児のための読み聞かせ

3月27日⑥ 10時半から

(北公民館) おはなし会杉の子

3月15日④ 10時から 10時半まで

■3月の休館日※

3日⑤、10日⑤、12日⑥～17日⑥※、24日⑤、31日⑤

岡町立図書館 ☎ 0178 ⑤ 3900

※3月12日⑥から17日⑤まで、蔵書点検と図書システム入替のため、図書館・各公民館図書室は休館となります。

この期間中、図書館ホームページの閲覧が出来ません。ご了承ください。

くらしの情報

相談・募集

各種相談窓口を開設
まずは悩みを相談して

☎ 0178 56 2166

☎ 0178 56 2166

① 町民相談

● 日時 3月14日(金)
10時～15時

● 場所 北公民館

● 相談員 小田 耕滋

② 行政相談

● 日時 3月26日(水)
10時～12時

● 場所 中央公民館

● 相談員 中村 廣美

☎ 0178 52 3848

同日、暮らしの相談会を
合同で開催します。十和田・
三沢地域の弁護士が無料で
相談に応じます。事前に予
約が必要です。

● 申込み 三沢ひまわり

基金法律事務所

☎ 0176 50 1115

☎ 0178 56 2246

人権相談

▼差別▼離婚▼相続▼虐
待▼近隣間トラブルなど、
人権擁護委員が相談に応じ
ます。相談者の秘密は固く
守られますので、安心して
相談してください。

● 日時 3月14日(金)
9時～12時

● 場所 中央公民館

☎ 0178 52 7066

心配ごと相談

● 日時 3月5日(水)
10時～12時

● 場所 いきいき館談話室

平成26年度の統計調査
員を募集

☎ 0178 56 4273

内容などは、各統計調査
で異なります。調査規模に
よっては登録の年に採用に
至らない場合もあります。

● 仕事の流れ

- ① 国勢調査などの各種統計調査の際に、町から調査員の仕事に依頼されます。
- ② 調査の前に、調査地区を確認し、調査地区の地図などを作成します。
- ③ 調査対象の世帯や企業などを回り、調査票を配布・回収します。
- ④ 調査票回収後、報告書類を作成し提出します。

● 待遇

・ 仕事の際は、特別職公務員として身分が保障されます。

・ 家事、自営業の合間など、自身の都合に合わせた仕事ができます。

・ 規定に基づいた報酬が支払われます(約2～5万円程度)。

● 登録要件

- ・ 町内に在住している人
- ・ 原則として20歳以上で、責任をもって調査員の仕事を遂行できる人
- ・ 調査上知り得た秘密の保

3月の納税相談日

日中お仕事などで税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば各種税金を納めることもできます。お気軽にご利用ください。 ☎ 0178 56 4704

日程	会場
4日(火)	本庁舎
18日(火)	(税務課)
11日(火)	分庁舎
25日(火)	(分庁サービス課)
2日(日)	本庁舎
	(税務課)

25年度の町税などの納期(随時の発行分を除く)が終了しています。納め忘れがないか、いま一度納付書を確認してみましょう。◎納め忘れの防止、手間のかからない口座振替が便利です。

◎高齢者や障がい者など、体が不自由な方で、どうしても金融機関や役場窓口などで税金を納められない方へは自宅へ訪問します。

十和田税務署から平成25年分確定申告のお知らせ

申告期限・納期限	口座振替日
所得税および復興特別所得税	3月17日(日) 4月22日(火)
贈与税	3月17日(日) —
消費税および地方消費税	3月31日(日) 4月24日(火)

*新たに口座振替を利用される場合、「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

*申告書作成会場及び開設期間

● 日時 2月10日(日)～3月17日(日) (土日祝日除く)

● 場所 十和田奥入瀬合同庁舎1階

*国税庁ホームページで申告書を『作成・印刷して提出』することもできます。

☎ 0176-23-3151

町奥入瀬川清流指導隊員を募集

環境保健課
☎ 0178 56 4218

●募集人数 4名

●応募要件

- ①町内在住で20歳以上の人(平成26年4月1日現在)
- ②奥入瀬川の清流を守るために必要な熱意と能力のある人

●任期 平成26年4月1日
～平成28年3月31日

●活動内容

- ①奥入瀬川を定期的に毎月2回以上パトロールし、日誌を作成して報告
- ②奥入瀬川の清流を守るため、町の各種行事への協力

●報酬 1年間2万円

●応募方法 指定の申込書

に必要事項を記入し、環境保健課へ郵送、FAXまたは持参して提出してください。申込書は環境保健課及び町ホームページから入手できます。

●応募期限 3月14日まで

●選定方法 申し込み多数

の場合、事務局選定

町国保運営協議会の被保険者代表委員を募集

環境保健課
☎ 0178 56 4218

国民健康保険運営協議会

は、国保事業が適正に運営できるよう、給付に関する事項の審議などを行います。被保険者の代表、保険医・保険薬剤師の代表、公益の代表で構成されます。

●任期 平成26年5月1日
～平成28年4月30日

●報酬 日額5,300円
(交通費は別途支給)

●応募資格

- ①現在及び任期中、当町の国民健康保険の被保険者である見込みの人
- ②平成26年4月1日現在で18歳以上の人
- ③町税に滞納がない世帯に属する人
- ④国・地方公共団体の議会の議員および職員でない人
- ⑤町の審議会等の委員でない人
- ⑥年4回程度の会議(約2時間)へ出席できる人

●申込方法 3月28日(金)までに応募用紙と応募の動機

(八百字程度)を記入したものを分庁舎環境保健課国民健康保険係へ提出してください。

※郵送可。3月28日必着。
〒039-2289

おいらせ町上明堂60-6

※応募は自薦とし、応募書類は返還しません。応募用紙は、町民課か環境保健課の窓口からお持ちいただくか、町ホームページからダウンロードしてください。

●募集人数 3名以内

●選考結果 4月中に応募者全員に結果を連絡します。

●選考方法 応募動機を比較・検討し選考します。

●委員氏名の公表 町広報紙および町ホームページ

●選考委員 町長、副町長、環境保健課長

町交通指導隊員を募集

まちづくり防災課
☎ 0178 56 2131

町内の交通安全保持と、交通徳の普及高揚を図り、交通事故をなくするために各種活動を行う、町交

通指導隊員を募集します。

●活動内容

- ▼通学路での街頭指導
- ▼幼稚園、保育園、小学校、老人クラブなどでの交通安全教室
- ▼年間を通じた交通安全運動での啓発活動
- ▼おまつりなど各種行事での交通整理
- ▼交通事故現場において警察官が行う交通規制への協力など

●応募資格

- ①21歳以上70歳未満の人
- ②重大な交通違反で処罰されていない人
- ③身体的、精神的に障がない人
- ④隊員にふさわしくない非行歴がない人

●募集人数 若干名

●任期 平成26年4月1日
～平成27年3月31日(更新有)

●申込方法 3月25日(木)までにまちづくり防災課まで連絡をお願いします。

●その他 制服などの装備品を貸与します。一年を通して活動した人に年12,500円の謝金が支給されます。

見積無料
お電話お待ちしております!

困った事、気になっている事、どんな小さな事でも
住まいの便利屋 ベンリーナ
気軽にお電話下さい。



<p>修理・リフォーム</p> <p>床の敷替え、床のキシミ修理、クロス張替え、障子襖の張替え、建具の調整修理、内窓取付け、手摺取付け、棚取付け、畳の表替え</p>	<p>修理・リフォーム</p> <p>塗装工事、外壁張替え、畳からフローリングの床へ雨樋修理、網戸張替え、排水のつまり、風除室タイルの修理</p>	<p>水廻り</p> <p>水漏れ、便器、便座、蛇口、シャワー等器具交換、ボイラー-修理交換</p>	<p>電気</p> <p>照明器具取替え、換気扇取替え、電球の交換、火災報知器取付け</p>	<p>ハウスクリーニング</p> <p>室内外、窓、換気扇、浴室、トイレ一般家庭用レンジフード、エアコン掃除</p>	<p>作業代行</p> <p>不用品の片付け、処分、家具の移動、ペット世話、除雪、草取り</p>	<p>庭の手入れ、外構工事</p> <p>庭木の剪定、害虫駆除、浸透樹の穴掘り、木の伐採、アスファルト敷工事、土留め、フェンス</p>
---	--	---	---	---	---	--

住まいの便利屋 ベンリーナ

青森県上北郡おいらせ町上前田 78-3 (古川建築事務所内)

☎ 0178-32-0828 携帯 090-9039-7193 (袴田)

CADオペレーター募集

古川建築事務所 TEL 0178-52-8531 担当:古川(こがわ)

・高校卒以上(平成25年3月以降卒または卒業見込み)で町民の方
・事業主の都合により非自発的な理由で離職を余儀なくされた町民の方
・パソコン使える方 CAD未経験者OK 男性も活躍しています

同時募集 建築現場監督(高額給)

※有料広告です

Public Relations

OIRASE 2014.3

地域包括支援センター ☎ 0178-52-7086 老人福祉センター ☎ 0178-56-4415 農村環境改善センター ☎ 0178-56-5255

27

男女共同参画プラン等のパブリックコメント募集

町では、「男女共同参画プラン」および「配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画」の計画期間が終了することに伴い、さらなる男女共同参画の推進に向けて総合的に施策を展開するため、第二次計画の策定に取り組んでいます。

計画の見直しは、男女共同参画推進会議での意見や提言を取り入れて行なわれています。このたび計画の「素案」が、まとまりましたので、町民から広く意見を募集し、寄せられた意見を参考に第二次計画を策定します。

● **募集期限**
3月13日 ☎ ※消印有効

● **素案閲覧方法**
町ホームページに素案を掲載するとともに、閲覧場所を設けます。

● **募集対象者**
次のいずれかに該当する人
① 町内に住所を有する人
② 町内に所在する職場に通勤する人および町内に所在する学校に通学する人
③ 町内に所在する団体

意見提出方法

閲覧場所に設置している意見書（様式は町ホームページからでもダウンロード可）に、氏名、住所、電話番号を明記し、左記の方法で提出してください。電話での意見および匿名での意見提出はできません。

● **意見の取り扱い**
提出された意見に対する考え方を記して、各閲覧場所や町ホームページで個人情報を除き公表します。

● **閲覧場所**
① 本庁舎1階ロビー ② 分庁舎1階ロビー ③ 北部出張所 ④ いきいき館（社会福祉協議会窓口） ⑤ みなくる館

催し・お知らせ

女性のための健康講座を開催します

環境保健課 ☎ 0178-564218

3月1日～8日は女性の健康週間です。

● **日時** 3月13日 ☎ 15時半～17時

● **場所** 東公民館2階

● **テーマ** 女性の心と体の変化（仮）

● **講師** 麻美レディースクリニック 真鍋麻美院長

● **申込先** 環境保健課

自死遺族の『つどい』を開催します

環境保健課 ☎ 0178-564218

大切な人を自死で亡くされた人が集まり、体験や思いを分かちあう場です。途中退席可、参加無料です。

● **日時** 3月15日 ☎ 13時半から15時半まで

● **場所** 八戸駅ユートリー

● **申込先** 青森県精神保健福祉センター「つどい担当」 ☎ 017-787-3957

「知って得する糖尿病講座」を開催します

環境保健課 ☎ 0178-564218

申し込みは不要です。

● **日時** 3月9日 ☎ 10時半～12時

● **場所** 東公民館2階

● **テーマ** 糖尿病ってどんな病気？

● **講師** 介護老人保健施設しもだ 堺秀人施設長

遺児入学・卒業祝金の申請を忘れずに

● **対象者** 死別等による母子家庭及び父子家庭（離婚・未婚は除きます）の父及び母、又は両親のいない義務教育修了前の児童の養育者

● **給付額** ① 小・中学校入学祝い金 七千円

② 中学校卒業祝い金 一万円

● **申請に必要なもの** 対象者（保護者）名義の金融機関の通帳、印鑑

● **申請場所** 町民課または分庁サービス課

● **受付期限** 3月28日 ☎ ※土日、祝日は受付不可

● **町民課児童福祉係** ☎ 0178-562246



2/10 開院 TEL 0176-58-7400

青い森こどもアレルギークリニック

診療科目 小児科 アレルギー科

受付時間	日・祝	月	火	水	木	金	土
8:45～12:15	休	●	●	●	●	●	●
14:00～15:00	休	●	◇	◇	予	◇	休
15:00～17:45	休	●	●	●	休	●	休

●：一般外来 ◇：【要予約】乳幼児健診・予防注射 予：予約検査 木曜・土曜の受付は12時45分まで

住所 住吉4丁目50番地2109

医師 鶴田 靖

(社) 日本小児科学会認定 小児科専門医

(社) 日本アレルギー学会認定 アレルギー専門医

ホームページ <http://aomori-2014.byoinnavi.jp/>



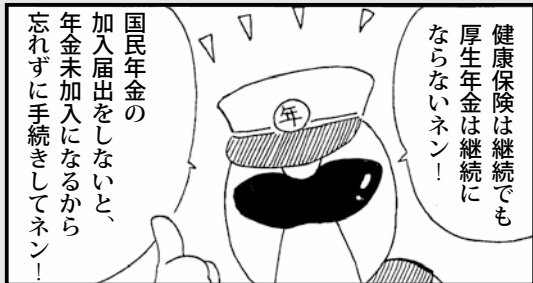
携帯サイトはこちら

※有料広告です



国民年金マン

退職したら忘れずに…ネン！の巻



作・画 / Yuichi.T

退職したときは届出が必要です

厚生年金や共済年金加入者が退職したときは、国民年金に加入することになるので、住所地の役場等へ届出が必要となります。

社会保険の任意継続により国民健康保険に加入しない場合でも、厚生年金は継続にはならないので、国民年金加入の届出が必要です。

もし、届出をしない場合、将来の年金額が少なくなる場合があります。また、万が一の時の備えである障害基礎年金が請求出来ない場合もありますので、必ず届出をしましょう。

ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165

日本年金機構八戸年金事務所

☎ 0178 ㊦ 7369

町民課

☎ 0178 ㊦ 2246

場所	日時	行事内容	
三田 保育園 ☎ 0178 56-2008	4日(火)	10:00~11:00 手作りおもちゃで遊ぼう【北部児童センター】	
	6日(木)	10:00~12:00 体験保育(0歳クラス)	
	7日(金)	10:00~12:00 体験保育(1歳クラス)	
	10日(月)	10:00~12:00 すこやかDAY(成長記録・身体計測)	
	11日(火)	10:00~11:30 スクラップブッククラブ ちよき・ぺた	
	12日(水)	10:00~12:00 体験保育(2歳クラス)	
	13日(木)	10:00~12:00 親子クラブ、給食試食会(メモリアルプレート製作)	
	14日(金)	10:00~12:00 ほっとカフェ	
	18日(火)	10:00~12:00 ハンドメイドクラブ(カレンダー製作)	
	19日(水)	10:00~11:30 ハッピーキッズ(ハーフバースディカード製作)	
	20日(木)	10:00~11:30 よちよちひろば(メモリアルプレート製作)	
	25日(火)	10:00~11:30 おたのしみ広場【イオン下田西コート】	
	*詳しい内容は「たんぼぼ通信」をご覧ください。		
	菜の花 保育園 ☎ 0176 53-8670	1日(土)	10:00~11:00 保育体験、離乳食教室
		1日(土)	11:00~12:00 クックサークル「いちごとマシュマロのチョコがけ」
		1日(土)	13:00~14:15 カントリーダンスサークル
		6日(木)	10:00~11:30 アンパンマンサークル「パン工場作り」 ◆フェルトでアンパンマンの顔を作ります。
		8日(土)	13:00~14:15 フラダンスサークル
		11日(火)	10:30~11:30 糸巻きシアター作り【みらい館サークル】
		13日(木)	10:00~11:30 わくわくサークル「パラパラ絵本作り」
		14日(金)	10:30~11:30 軍手人形作り【るるんサークル木ノ下児童館】
		15日(土)	10:00~11:00 保育体験
		15日(土)	13:00~14:15 カントリーダンスサークル
		15日(土)	14:30~15:45 フラダンスサークル
		25日(火)	10:30~11:30 ぼよぼよ風船人形作り【みらい館サークル】
25日(火)		11:00~11:30 おたのしみ広場【イオン下田西コート】	
*詳しい内容は「わくわくつうしん」をご覧ください			
あゆみ 保育園 ☎ 0178 52-2206		3日(月)	10:00~11:30 まんまるサークル
	4日(火)	10:00~11:50 おしゅべりサロン	
	6日(木)	10:00~11:30 すだちの会	
	7日(金)	ファミリーサロン 10:00~12:30 祖父母と孫、父親と子どもが参加できる活動です。 祖父母または父親が一緒の時は、お母さんも参加できます。	
	11日(火)	10:00~11:20 マタニティほんわかルーム(トイレトレーニング)	
	13日(木)	10:00~11:50 おいらせクロバ	
	25日(火)	11:00~11:30 おたのしみ広場【イオン下田西コート】	
*詳しい内容は「きらら通信」をご覧ください			

【 】は園外開催場所です。また、やむをえず予定を変更する場合がありますのでご了承ください。

おいらせ町地域子育て支援センター おたのしみ広場を開催



- 場所
イオンモール下田
西コート
- 日時
3月25日(火) 11時~
- 内容
えほん、手遊び、
ふれあい遊び など
- 主催
三田保育園、
菜の花保育園、
あゆみ保育園

地域発見



いのちめぐ
『生命の恵みに感謝』の一心

概要
社名 日本フードパッカー株式会社
施設名 日本フードパッカー株式会社青森工場
代表者 代表取締役社長 是澤 栄一郎
工場立地 昭和54年3月
(青森ポーク株式会社)
事業内容 食肉の解体処理

第7回 日本フードパッカー株式会社 青森工場

34年の歴史を持つ大工場

豚・牛の解体処理にはじまり、枝肉検査・計量・格付けから冷却・分割・脱骨・整形・包装までも行う。1日に1500頭の豚と50頭の牛を扱う設備は、ほぼフル稼働で操業している。豚・牛の加工において東北地区の一大生産拠点であり、同グループ全国7工場中最大の本社工場である。取り扱う豚や牛はすべて純国産、製品は関東へも広く流通。394名の従業員中、約3割をおいらせ町民が占めている。

捨てる部分は「無いです」 生命の恵みに感謝を込めて

作られるのは食肉だけではない。皮は塩漬けして出荷され革製品となり、骨は、スープの原料となる。製品として利用されない部位は、加圧処理され、肥料や飼料の原料となる。脂もラードやヘットとして活用される。吉原工場長はそのすべてを『生命の恵み』と表現した。

「すべて人の命のために、牛や豚が提供してくれるもの。捨てる場所は無いです。また、

農場で大切に育てられた豚・牛を生産者の皆様が安心して、計画的に出荷できるように、日々安定操業に注力しています」



▲明神山の畜魂碑。青森日本ハム株式会社(旧社名)の名も「生産者の名前が多く彫られています。養豚の歴史がある町」と工場長は語る

震災を乗り越える

事務室などの壁には、ひざの高さの位置に、赤いマスキングがされている。「浸水したことを風化させないための印」だ。

高橋課長は、東日本大震災当時を振り返る。

「従業員の被災車両は300台。ですが『真つ先に復興して、希望の光となるう』を合言葉に総力をあげ、おいらせ町の方々に協力頂けたからこそ、19日という短い期間で操業を再開することが出来ました。9月には工場ではマワリが再び満開となり、その姿に癒されました。一丸となって取り組んだ結果、団結力が増し、より絆が深まったと感じます」

岡田 俊樹 さん 写真①

と畜解体3年、現在は枝肉計量担当。「入社当時は知らないことが多く驚いてばかりでしたが、慣れました」特技はサッカー。洋光台在住、22歳。

高橋 洋之

管理本部管理課長
「明るく楽しく、仕事をします」趣味は釣り。八戸在住、37歳。



吉原 洋明

青森工場取締役工場長
横浜町などで養鶏事業も経験してきた。「皆に働いて良かった、と思われる工場でありたい」51歳。



3月の町教育委員会 定例会を開催します

園学務課

☎0178-64258

会議は公開していただきますので、お気軽に会場にお越しください。5人以上で傍聴を希望の場合は、前日までにご連絡ください。また、議題によって退席いただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

●日時 3月27日(土) 15時

●場所 みなくる館

まちづくり応援します 「ハートピア助成金」

園まちづくり防災課

☎0178-62131

ハートピア助成金は宝くじ収益金を活用しています。現在、26年度実施事業を募集しています。募集は3月と8月の2回ですが、内容相談などは随時対応します。

●対象 次の①～④を満たす団体が対象です。

- ①10人以上で構成され、構成員のうち半数以上が町内に在住していること
- ②住所や活動場所が町内に

あること

③助成対象になる活動を確実に実行できること

④営利、政治または宗教を目的としないこと

●対象活動・助成期間

- まちづくり事業 文化、スポーツ、美化や自然保護活動など(3年間)
- 町内会加入促進事業 町内会加入促進を旨とする事業(5年間)

●助成額 活動経費の3分の2、上限は20万円まで

●対象外の経費 自団体内に対する人件費、謝礼、報酬、パソコンなど汎用性の高い備品購入費など
※食糧費、景品代などは上限があります。

●申込方法 申請書類に必要事項を記入し、4月18日(金)までにまちづくり防災課へ提出してください。

●決定方法 ハートピア審査会で審査後、結果を通知します。

●実施された事業の例 記念植樹、自給菜園、町内会区域周知看板、地図作成、地域づくり勉強会

高齢の国保加入者の 負担割合の特例を継続

園環境保健課

☎0178-64218

昭和19年4月1日以前に生まれた70～74歳の国保加入者で、一部負担金の割合が1割の人は、今年4月から本来の2割に引き上げられる予定でしたが、制度改正により1割の特例措置が継続されます。お手元の「高齢受給者証」(白いカード)をご確認ください。

現在3割負担の「現役並み所得者」の人は変更ありません。

また、現在1割負担でも、前年所得で現役並み所得者と判定されると、8月から3割負担になります。

なお、昭和19年4月2日以降に生まれた人には、この特例は適用されません。

●高齢受給者証の変更内容
□変更前／2割(但し平成26年3月31日まで1割)
□変更後／2割(特例措置により1割)

3月下旬、対象者に新しい受給者証を郵送します。申請等は必要ありません。

試験

26年度自衛官採用試験 を行います

●予備自衛官補(一般公募)

応募資格／26年7月1日現在、18歳以上34歳未満
受付期限／4月2日(土)
日程／4月11日(金)～15日(月)のうちいずれか1日

●予備自衛官補(技能公募)
応募資格／26年7月1日現在、18歳以上で各種国家免許資格などを有する人
受付期限／4月2日(土)
日程／4月11日(金)～15日(月)のうちいずれか1日

●幹部候補生(一般・飛行)
応募資格／27年4月1日現在、22歳以上26歳(修士課程修了者は28歳)未満の人
受付期限／4月25日(金)
日程／5月10日(土)筆記試験、5月11日(日)筆記式操縦適性検査(飛行要員のみ)
※試験場は別途連絡します。詳しい内容は問い合わせください。

●自衛隊青森地方協力本部
三沢募集案内所
☎0176-631346

国家公務員採用試験 を行います

人事院では、次のとおり採用試験を実施します。

●総合職試験(院卒・大卒程度)

受付期間／(インターネット)4月1日(土)9時から4月8日(土)受信有効
1次試験／4月27日(月)

●一般職試験(大卒程度)
受付期間／(インターネット)4月9日(土)9時から4月21日(土)受信有効
1次試験日／6月15日(日)

●一般職試験(高卒者)
受付期間／(インターネット)6月23日(日)から7月2日(土)受信有効／(郵送・持参)6月23日(日)から6月26日(土)まで
1次試験／9月7日(日)
詳しい内容は問い合わせください。

●人事院東北事務局第二課
試験係
☎022-221-2022

明

るい「ほら」がまちづくりのヒントに

▶▶▶ 第8回新春！うそ八百・ほら吹き大会 1/19

おいらせ町まちづくり推進委員会（川口弘治会長）は、1月19日、みなくる館で、第8回新春！うそ八百・ほら吹き大会「うそから出た実～未来のふるさとを夢見て～」を開催しました。

中泊町など町内外から集まった7人が、「いちょうの木から香水を作る」「巨大な鮭が出現」など、おいらせ町を題材にした「ほら話」を披露。続いて今千里さんの演奏&トークショーや、わんこ豆腐早食い競争、お楽しみ抽選会などが開かれ、会場には終始笑いが絶えませんでした。

「町にオリンピック選手村を誘致」のほらで優勝した三津谷あゆみさん▶



毎

年恒例 格安「まける日」

▶▶▶ 第32回百石まける日 1/24～26

百石本町商店会（木村正二会長）は、1月24日から26日まで、あじゅまるビルで第32回百石まける日を開催しました。

会場では町物産振興会が特産品などを出品。商工会青年部による桃川の酒粕やホッキ貝の販売のほか、お楽しみガラポン大会や甘酒のふるまいが行われました。

さらに25日は百石高校生徒が作るへっちょこ団子のおしるこ、26日はおいらせブランド推進協議会によるへっちょこ汁のふるまいがあり、会場は多くの来場者でにぎわいました。

最終日のへっちょこ汁ふるまい。連日多くの来場者でにぎわった▶



向

山駅を通じ、地元鉄道をPR

▶▶▶ おらんどの駅祭り 1/26

向山駅愛好会（中村淳悦会長）は1月26日、イオンモール下田で「おらんどの駅祭り in イオンモール下田」を開催しました。鉄道模型Nゲージや向山駅ミュージアム所蔵品の一部が展示されたほか、地元産品の販売などが行われ、特製の「おらんどの駅弁」は完売しました。

会場ステージでは町の『おいらくん』と青い森鉄道マスコットキャラクター『モーリー』が、アテンダントと一緒にジャンケン大会を開催。ジャンケン午後の部で優勝した林田夢希望さん（東北町）は、「運よく勝ってびっくりしました。おいらくんを今日初めて知りました」と家族で喜んでいました。ジャンケン大会を楽しむ来場者たち▶



貴

重なる文化財を守るためには

▶▶▶文化財防火デー防火訓練 1/27



聖福寺（阿光坊、小坂仁道住職）は1月27日、文化財防火デーに伴う防火訓練を行ないました。

この訓練は県重宝文化財で青森県最古の金銅仏「聖観世音菩薩立像」を火災などから守り、防災意識を高めるため、毎年行なわれています。

おいらせ消防署の木村嘉成第二消防副隊長は「消火器の放射時間は1本15秒。初期消火では、消火器を一カ所に集めるとなお良いです」と講評しました。同署は、新型司令台を導入し、通報元携帯の場所を10m規模で特定できるようにするなど、防災強化につとめています。

◀煙発生装置を使用し、実際に煙の中で消火器訓練

花

の育種技術で町農業に新たな可能性

▶▶▶町担い手育成総合支援協議会講演会 2/4



おいらせ町担い手育成総合支援協議会（高坂園芸共催）は、2月4日、木ノ下ふれあい館にて、青い花を咲かせる研究で有名な三位正洋農学博士（千葉大学環境健康フィールド科学センター）を講師に迎え、『花の育種と組織培養による苗生産』の講演会を行いました。

講演では、組織培養や遺伝子組み換え技術による品種改良の可能性と基礎的研究の必要性についてお話をいただきました。共催した高坂さんは「この講演を花き栽培に役立て、町の農業に活かされれば」と話していました。

◀花の組織培養について、最新事例を学んだ

お

いらせのご長寿を祝う

▶▶▶長寿祝金贈呈 2/5



町は、2月5日、佐々木サツコさん（堀切川）へ長寿祝金を贈呈しました。

町長が「いつまでも長生きして、昔の話をみんなに教えてください」と目録を贈呈すると、佐々木さんは「百まで生きて、祝ってもらって、ありがたい」と、集まった家族の前で深く一礼をし、笑顔で応えていました。

2月3日に百歳を迎えた佐々木さんは、「昔のことは、ちゃんとおぼえていますよ」と語りました。日課はひなたぼっこ。何でも自分でする習慣があり、少し耳が遠い程度の健康な身体で、毎日穏やかに暮らしています。

◀めでたく百歳を迎えた佐々木さん

たくさんのご支援
ありがとうございます

東日本大震災 寄附金・義援金

【2月12日現在】

東日本大震災で被害を受けた本町に多くの
方々から災害義援金をいただきました。1月
14日から2月12日現在までにいただいた分
を掲載しています。

(順不同、敬称略。匿名の方や本人の意向によ
り掲載してほしくない方は省略させていただきました。)

災害義援金

▶大塚淳子▶梨本塾事務局▶森川尚子▶西山
達二▶RockFISH 間口一就 RockFISH のお客様
一同▶山住真一郎▶玉置光子▶鈴木浩▶大山
行雄▶山崎博司

義援金などの受付を延長しています

▶郵便振込▶口座振替▶窓口など、いずれ
の方法でも平成26年3月31日まで受付して
います。詳しくは町ホームページをご覧ください。

おいらせ町災害復興支援寄附金

33,658,463円

おいらせ町災害義援金

35,679,260円

ご寄附いただきました方々の寄附目的を確認した
上で、災害義援金と復興支援寄附金とに分けて受け
付けしております。

- ・復興支援寄附金は、被災者の生活・経済活動復
興のための支援に使わせていただきます。
- ・災害義援金は、被災者に対して被災程度に応じ
て配分しております。

■災害義援金の配分

義援金を公平かつ効果的に配分するために、おいら
せ町災害義援金配分委員会を開催し、被災者の被
災程度に応じて配分しています。

○配分済額 33,940,000円

〔現在高 1,739,260円(2月12日現在)〕

まちづくり防災課 ☎0178-562131

寄附・寄贈
ありがとうございます

花美流稲扇会から奨学資
金として寄附いただきました。
ありがとうございます。

3.11 防災フォーラム2014を開催します

●日時等 3月11日④ 13時(12時半開場)八戸市公民館

●参加費 無料

◇基調講演

演題「青森県海岸の大津波のしくみ 何故青森県に大きな津波が来るのか」
講師 八戸工業大学教授 佐々木幹夫氏

◇震災復興事業報告 三沢市、おいらせ町、八戸市、階上町、八戸工業大学

◇東日本大震災学術合同調査委員会報告 東北大学教授 真野明氏

◇震災復興調査研究報告

家族葬会館

おいらせ町一川目一丁目 73-1796

葬儀用新品祭壇備えづけ及びお棺・骨箱・塔婆・下駄・草履・ローソク・せんこうなど
葬儀に使用する品物一切が30万円でサービスします。(霊柩車・バス代は別料金)
北浜葬儀センターの事業区域は、おいらせ町全域です。

有限会社

北浜葬儀センター

会館使用料は1日1万円

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎0178-53-2614

※有料広告です

Life Information.

戸籍の窓

1月に町へ届出するなど、掲載希望した人を載せています。

こんにちは赤ちゃん

10件/届出14件

高橋 叶愛ちゃん (哲也・暁子)	奥入瀬団地
小泉 柊瑛くん (浩樹・美智子)	苗振谷地
菊池 悠太くん (拓也・有紀)	洋光台
長谷川 結菜ちゃん (将太・巴瑠香)	鶉久保
高橋 空咲日くん (孝幸・恵里)	深 沢
馬場 杏ちゃん (隆志・雅子)	秋 堂
松倉 壮太くん (智史・友美)	根 岸
山上 優ちゃん (勝・忍)	鶉久保
鈴木 永舵くん (浩文・真子)	一 川 目
岩崎 徹也くん (徹・利江)	洋光台

結婚おめでとう

3件/届出5件

袴田 広大	間 木
川村 美樹	三 田
加藤 賢	十和田市
岡田 美栄子	豊 栄
成田 博幸	向 山
箕輪 麻紀子	三沢市

お悔やみ申し上げます

坂本 そめ	16件/届出25件	豊 栄
中川 芳二	75歳	青 葉
大久保 サン	97歳	向 山
林 馬吉	82歳	洗 平
田中 延子	74歳	木内々
遠藤 安藏	95歳	二川目
小向 千吉	82歳	上新町
村田 英夫	86歳	有楽町
西館 ゆり	65歳	深 沢
吉田 とわ	80歳	三 田
工藤 とみ	65歳	川 口
馬場 峰子	71歳	秋 堂
坂井田 好雄	76歳	三本木
袴田 菊子	100歳	木ノ下
袴田 兼太郎	80歳	間 木
八重垣 キヨ	92歳	三本木

町県民税の還付加算金の未払いのお詫び

このたびの、町県民税の還付加算金の未払いにつきましては、納税者ならびに町民の皆さまに多大なご迷惑をお掛けし、また、税務行政への信頼を失わせる結果となったことについて、深くお詫び申し上げます。

現在、還付対象者に対し還付の手続きを行っているところであります。

今後、このような事態が発生することのないよう、職員の意識改革と関係法令等の確認を徹底し、再発防止に努めてまいります。

納税者ならびに町民の皆さまにご迷惑をお掛けしましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

税務課 ☎ 0178 ⑤ 4704

自動車税 ～住所変更された人へ～

自動車税の納税通知書は、原則として車検証に記載されている住所にお送りしています。引越しなどで住所が変わった場合、住民票とは別に運輸支局で住所の「変更登録」の手続きが必要となります。3月中に住所の「変更登録」ができない場合は、上北地域県民局県税部までお知らせいただくか、県庁ホームページより届出を行ってください。

(税) 上北地域県民局県税部納税管理課
☎ 0176-22-8111 (内線 211～214)
(登録手続) 国東北運輸局青森運輸支局
八戸自動車検査登録事務所 ☎ 050-5540-2009

編集後記

▽立春を過ぎると、暦の上では春です。ふと、カレンダーに目を向けると「雨水(うすい)」の文字が。▽立春から数えて15日目頃のこと、空から降るものが雪から雨に変わり、水が溶けて水になるという意味だそうです。▽一方で、大雪が降ったりするものこの頃とも言われているそうです。季節の到来を予感させる節気に改めて感心しました。

総務課広報係 大柳・川口

伝統の百石えんぶりに挑戦

小國未詩

さん

(苗振谷地)



Profile

おぐに・みう
木内々小学校2年生。今年
はじめて子どもえんぶり
教室に参加。練習を重ね
て大黒舞を演じ、「パツチ
リ踊れました」好きな食
べものは「チーズ以外」。
水泳も習っている。「泳ぐ
のは好きです」8歳。

今年1月に、えんぶり教室に参加。大黒舞を習い、百石えんぶりで披露した。大黒舞はえんぶりの演目の一つで、それぞれの手に扇子と小槌を持ち、大黒様を印象づけるきらびやかな衣装を身にまとい、優雅に舞う。収穫への感謝を意味する舞だ。

小國さんがえんぶりに参加したきっかけは、友だちからの誘いだった。「何回も誘われて、行ってもいいかなと思って」実際に顔を出してみると、しきたりも多く、練習は結構厳しかった、と話す。練習を続けた結果、独特のリズムに乗り、息をあわせて踊ることができるようになった。

2月15日、初参加のえんぶりは、記録的な大雪となった。「雪が腰の上まで積もっていて、歩くのが大変でした。踊っている時に、雪が顔にあたって痛かった」と苦笑。慣れない衣装で、はじめは左腕を挙げる動作が難しかったようだが、それでも練習どおりにできたと話す。「一人だとつらいことでも、誰かと一緒ならできる」



「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ

No.109 2014年3月1日発行号